島田市自転車ネットワーク計画 概要版 令和6年3月

概要

背景と目的

本市の交通事故件数は減少傾向にあるものの、自転車事故件数は減少していない状況であり、自転車事故の対策が 喫緊の課題となっています。一方で、全国的にサイクルスポーツやサイクルツーリズムなど、交通手段以外での自転車の利 活用が広がっているほか、高齢化の進展に伴い、自転車の役割は今後一層大きくなることが予想されています。

こうした状況を踏まえて、市内を安全かつ快適に通行できる空間を効果的・効率的に整備することを目的として、島田市自転 車ネットワーク計画を策定します。

計画の位置付け

本計画は、国のガイドラインや静岡県自転車活用推進計画の考え方を基本として、島田市の自転車利用、道路環境の 現 状や課題を踏まえ、関連計画と連携し、「第2次島田市総合計画」に寄与する計画として策定します。なお、「島田市自転車 活用推進計画(策定予定)」が策定された場合は、同計画の施策の一つとして位置付けます。

上位計画

- ·第2次自転車活用推進計画(国)
- ·第2次静岡県自転車活用推進計画
- ·第2次島田市総合計画
- ・島田市都市計画マスタープラン
- ·島田市立地適正化計画
- ·島田市自転車活用推進計画(策定予定)

関連計画

- 第11次島田市交通安全計画
- 島田市中心市街地活性化基本計画
- 島田市観光戦略プラン
- 第3次島田市健康増進計画
- 島田市観光地エリア景観計画 等





連携する

島田市自転車ネットワーク計画



安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン / 静岡県自転車道等設計仕様書

2 基本方針と自転車ネットワーク計画路線

本市の自転車に関する現況や課題等から本計画の基本方針及び方針別に自転車ネットワーク計画路線の選定条件 を設定します。

方針 |: 通学路における自転車通行空間の確保

① 通学路として利用が多い路線

② 駅や駐輪場と高校を繋ぐ路線

③ 連続して通行するための路線

方針2: 拠点間の接続や拠点内の自転車通行空間の確保

① 中心拠点内の周遊性を高める路線

定条

② 自転車利用の多い地域拠点を繋ぐ路線

③ 地域拠点内の周遊性を高める路線

方針3: 観光資源を繋ぐ自転車通行空間の確保

定

① 地域観光資源を繋ぐサイクリングルート

条件

② 広域的なサイクリングルート

③ 自転車関連施設を繋ぐ路線

3 白転車ネットワーク計画路線の整備方針

整備形態の基本的な考え方

島田市自転車ネットワーク計画における整備形態は、道路の整備状況や計画の実現可能性を考慮し、現状の車道内での 幅員再配分による整備を前提とします。また、自転車は「車両」であるという原則を踏まえ、自転車ネットワーク路線として指 定した道路については、車道整備を基本として整備形態を検討することとします。

整備形態の整備イメージ

国のガイドライン(安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン)や静岡県自転車道等設計仕様書に基づき、各路線 の自動車交通量、規制速度、幅員構成等の既存データがある項目を基に整備形態を検討します。



自転車ネットワーク計画路線の整備方針フロー



